

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
電気・電子科 電子工学コース											
資格対策講座 4											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選 2	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	山本 絵美			実務 経験	有	職種	放送管理業務				
授業概要											
陸上特殊無線技術士に必要な法規などの知識や移動体通信にかかわる技術を学ぶ。											
到達目標											
陸上特殊無線技士取得を目標に無線工学、運用、法規について重点的に身につける。											
授業方法											
陸上特殊無線技士の操作範囲、法規について学ぶ。陸上特殊無線技士の操作範囲、無線工学について学ぶ。国家試験の既出問題を中心に解答方法、考え方、技術背景などを学ぶ。また、演習を実施し上級国家試験合格を目指す。											
成績評価方法											
試験・課題：80％試験と課題を総合的に評価する。小テスト：10％授業内容の理解度を確認するために実施する。レポート：5％授業内容の理解度を確認するために実施する。平常点：5％積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
陸上無線技術士の国家試験科目を学習するために必要な知識について学習する。確実な知識により国家試験問題を解答することができるためには、授業中の演習により学習するが、自宅で学習することも必要である。このため必ず授業に出席するは必要があり、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。											
教科書教材											
第一級陸上無線技術士国家試験問題集、第二級陸上無線技術士国家試験問題集、無線工学A											
回数	授業計画										
第1回	マイクロ波を用いた通信システムについて学習する										
第2回	固定通信、衛星通信システムについて学習する										
第3回	テレビジョンや音声放送の通信機器について学習する										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
電気・電子科 電子工学コース	
資格対策講座 4	
第4回	レーダの原理、構造について学習する
第5回	無線通信機器の測定に用いられる機器について学習する
第6回	無線通信測定用機器を用いたむせ通信機器の測定方法を学習する
第7回	電波法の目的と無線通信の現状について学習する
第8回	電波法で定義される無線局について学習する
第9回	無線局を開設するために必要な免許について学習する
第10回	無線局を運用する無線従事者について学習する
第11回	無線局のを運用方法について学習する
第12回	無線局に必要な業務書類について学習する
第13回	無線局を運用する無線従事者について学習する
第14回	無線局や無線従事者に対する監督について学習する
第15回	国家試験問題演習によって学習のまとめる